



【取組内容①】『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』

ミニバレーボール 1年生4名・2年生6名3年生8名(補欠2名)氏名・番号・漢字フルネーム				選択 1
例: 42 中央 一郎	氏名	氏名	氏名	
氏名	氏名	氏名	氏名	
氏名	補 氏名	補 氏名		

色々ボールリレー12名(補欠2名)氏名(番号・漢字フルネーム)				選択 2			
氏名	1. サッカー	氏名	2. サッカー	氏名	3. サッカー	4. バドミントンラケット	
氏名	5. バドミントンラケット	氏名	6. バドミントンラケット	氏名	7. バドミントンラケット	氏名	
氏名	8. バドミントンラケット	氏名	9. バドミントンラケット	氏名	10. バドミントンラケット	氏名	
補 氏名	補 氏名						

A1 学級対抗リレー			
	A	B	C
1	学級対抗リレー		
2	走順	出席番号	氏名
3		1	24
4		2	9
5		3	6
6		4	1
7		5	39
8		6	7
9		7	18
10		8	31
11		9	25
12		10	27
13		11	26
14		12	10
15		13	12

生徒氏名

【実践例④】第3学年 特別活動の時間「Jam boardとスプレッドシートを活用した選手決め」

修学旅行の部屋決め&座席決めて活用したJam boardを、スポーツ大会の選手決めてでも活用した。体育常任委員の資料をスキャンし、Jam boardの背景に設定することで、生徒が主体的に進められるという実践である。種目に人員が重なり、譲り合う必要がある場面も、付箋を貼り直しながら話し合う様子が見られた。全員リレーはスプレッドシートを共有し、出席番号である1～40の枠を作るだけで、生徒が自分の好きな場所に氏名を書き込み、走順が決定していった。

希望場所の移動、調整も画面上の付箋で簡単に行うことができ、黒板を使用し、ネームプレート等を貼りながら行う従来の形に比べ、より生徒が主体的に活動に参加する様子が見られた。また、教師が準備する時間もほとんどかからない。やはり、ICTは各教科の授業に加え、特別活動の時間（学級活動）にも効果的に活用できると感じることができる実践となった。